

ダム周辺の山林保全措置制度

横瀬川ダム山林保全措置制度の概要

宿毛市は、林道土居ノ内一生原線上流のダム湖右岸、上流国有林と西側の市有林に隣接する範囲（民有林41ha）において現存する良好な山林環境の保全、里山環境の復元、新たに出現するダム湖環境の保全等を目的として「一生原自然環境保全事業（横瀬川ダム湖周辺地区）」を実施していく予定です。

中筋川総合開発工事事務局は、付替道路建設の代わりに、土地・立竹木等の取得及び補償費用並びに維持管理に必要な施設の整備費用を負担するものです。

山林保全措置制度を活用すると

- ①ダム湖の景観が保全されます。
- ②山地の崩壊を防止し、水質の保全や堆砂抑制が図られます。
- ③自然林の保全により、生物の生息環境が保全され、地域の自然生態系の保全が図られます。
- ④従前の公共補償と比べて建設事業費の縮減が図られます。（付替道路の施工が不要、工期の短縮が図られます。）



ダム周辺の山林保全措置制度とは

本制度は、道路の付替えに代えて、地元地方公共団体等がダムの周辺山林の取得及び当該山林の管理を行う場合に、ダム事業者が付替道路整備費の範囲内で、その費用を負担するものです。